

2022年(令和4年)謹賀新年 元旦



新年あけましておめでとうございます。
恒例となりました。昨年の活動報告と、未来のビジョンからくる本年の抱負をお伝え致します。
まず、お様様で(株)井口浩フィフス・ワールド・アーキテツは、設立26周年を、NPO法人ミレニアムシティは、活動開始22周年を迎えることができました。これも、ひとえに皆様のご理解、ご協力のたまごであることがいまでもありません。改めて誠にありがとうございます。

【株】ミレニアムシティが「アクティブ・コミュニティクラブ (ACC) を開始
2023年に設立された、くもとミレニアムシティ(株)は社会実装を先行し、新たに「株式会社ミレニアムシティ」が設立された。業務内容は、従来からのエコビルディングの企画、設計、建設、管理運営に加え、新たに「アクティブ・コミュニティクラブ (ACC)」という会員のコミュニティクラブの管理運営を行う予定です。昨年10月に竣工オープンした「フュージョン・ヒルズタワー」と6年前にオープンした「リニュー・ジュ・ハルルタワー」(あさひミレニアムシティ)「くもとミレニアムシティ」等を対象として、会員制コミュニティクラブのACCの運営がいよいよ始まりました。(詳しくは裏面に参照下さい。)

【縄文フラクタル】というデザインの可能性は?
昨年中の最大の成果のひとつは、「縄文フラクタル(遺蹟)」という、宇宙法則(自然の原理)にのっとられた方たちでの、建築や集落やまちづくりの望ましい法則性を発見、創作できたということ。別名「マルちゃん」の法則です。簡単に説明すると、「すべての生命体の本質は、その中心を中心軸として回転し続けることによる生命たしめられている」ということです。

原子は原子核を中心にそのまわりを電子がまわっています。
地球も自転し、太陽を中心に公転しています。
太陽系も銀河系の中心をまわっています。
銀河系も宇宙をまわっています。駒のようにまわっている限りは(バランスをとってたおれない(死なない)もの)にすぎません。という具合に生命の本質は中心の点と丸(回転)からなるマルちゃんであり、相対論(フラクタル)になっているのです。
ちなみにこの記号は、日月神示の中に、たびたび現れ、その意味は「カミ」ということだそうです。そして、縄文時代の円形集落とその構成要素である竪穴式住居は円形の方たちをしており、その中心には「火」として示されています。

【完全圓和の家づくりまちづくりが本当にあった】
約3万6千年前にはすでに100ヶ所をこえる円形集落が日本列島に存在しており、それ以来、日本では弥生時代が始まるまで、なんと3万年も続いた形跡がなく、他国からもつと発見されていないという、弥生前時代社会をつくりあげてきたことが近年の研究で明らかになってきたというのです。すなわち現代でも「登録」は中心をまぐるようにしており、とても楽しおだやかな気持ちになりますよね。これも日本の和や調和に一段ついているのです。
そして重要なことは、ふと見ると、現代の家の間取りや集落の形、都市デザインという、現代文明に深く欠けている分野だけが、この単純明快なマルちゃんに法則的、いいかえれば「縄文フラクタル」の法則に、全くの欠けていないことがわかってきました。現代社会が世界中で戦争と殺戮、不調和にある限りはこれの視点から見て当然といえるのではないのでしょうか。自然(宇宙)のあり方に根本的に反しているからです。家の間取り、集落の形や習慣のデザイン、コミュニティデザイン、都市デザインのすべてにわたってこれら不調和を調和のあり方、中心と円形(法則)に整えていく考え方、つまり方が「縄文フラクタル」という考え方なのです。

【家や、集落、それ自身が、時計であり、暦、カレンダー(コスミック・カレンダー)ともなる】
日本は北緯約35°の位置にあるため、冬至と夏至の日の出、日のりの方位角が、それぞれ、東西側に対して、ちょうど30°ずつとなっています。これは、偶然か否かはともかく、すごいことなのです。
360°を30°で割ると、12等分になるため、結果として家や集落自体の形を整えることで、それが太陽の日時計とカレンダーの両方の機能をもつことができるからです。家や、まちがいながら、時計がなくても自らの出入り、高度から、その日が何月何日、何時頃かも正確にわかるということ。これは、究極の安心感、安寧、ひいては精神の調和につながることは想像にたかくないのではないのでしょうか?
これにさらにコミュニティの規模論として、適正規模が200戸千人であり、さらに組(エフェクティブ・グループ)に分かれていくという側面を組み合わせて、究極の調和をめざしたものが「縄文フラクタル」という法則的にある家づくり、まちづくりの方法といえることとす。(右図参照下さい)
現在、縄文フラクタルと、千手観音尊像(一)所有成立可能を構築中です。ご興味のある方は、是非ともこのプロジェクトを一緒に実現させていきましょう。ご参加をお待ちしています。

本年の抱負
その1
アクティブ・コミュニティクラブ(ACC)を推進させ、本年中に軌道に乗せる。そのプロセスで「自由」と「自己サービス(ネット)」を具体的ににつくります。
その2
「縄文フラクタル」を実現させるべく、縄文プロジェクトの積極推進及び、その企画、設計を推進する。そのプロセスで、究極の調和と発展をめざすべき方向や手法を、具体的に探究し続ける。

【2020年(120周年)までに達成していること】
・120歳まで心身共に健康で活動し、人生120歳時代のモデルを自ら示している。
・人類全体が大変難時代を経て、5次元レベルの社会となり、人類の存続に脅威となるものは存在しない。みろくの世界となっている。

縄文フラクタル JO MON - FRACTAL

縄文フラクタル JO MON - FRACTAL

- 縄文コスミック・カレンダー・ハウスとビルディング JO MON - COSMIC - CALENDAR - HOUSE & VILLAGE
- 完全調和力住居・都市 AUTHENTIC - HARMONIC - HOUSE & CITY
- 生命・中心(性)×円(運動) LIFE = CENTER × CIRCLE

暦 CALENDAR
時計 TIME WATCH
ハウス・フォレストリー HOUSE-FORRESTRY (鎌倉郡市)
エコロジー ECOLOGY
カムフラージュ・ハウス CAMOUFLAGE-HOUSE
享楽 時間自由 FREE - SPACE & FREE - TIME
エネルギー 食糧自給自足 FREE - ENERGY & FOOD
調和コミュニティ 調和集落 HARMONIC-COMMUNITY FAMILY
宇宙法則 COSMIC-LAW
建築家 井口浩

■(株)ミレニアムシティ(旧くもとミレニアムシティ)株式会社
代表取締役 井口浩
住所:〒177-0044 東京都練馬区上石神井1-11-12
TEL/FAX: 03-6328-9168(代表)
E-mail: info@millenniumcity.co.jp
URL: http://www.millenniumcity.co.jp

■特定非営利活動法人(NPO)法人ミレニアムシティ
理事長 井口浩 常任理事 井口浩代
住所:〒177-0044
〒東京都練馬区上石神井1-11-12(東京事務所)
TEL/FAX:03-3929-4666 03-3929-7188
URL: http://www.npo-mc.com
E-mail: info@npo-mc.com

■(株)井口浩フィフス・ワールド・アーキテツ
代表取締役 井口浩
メンバー: 武藤 大吾 井口 浩代
総建築士事務所登録 東京都知事第40342号
住所:〒177-0044 東京都練馬区上石神井1-11-12
TEL/FAX: 03-3929-7108/03-3929-7188
E-mail: info@fifthworld.jp
URL: http://www.fifthworld.jp

■(株)ホルムベージのアドレスが新しくなりました。

■S=1,200,000 鎌倉コスミック・シティ・開発
4,521,600㎡×1,296戸×3,500㎡/戸
2,867㎡/戸
21階建(20F×19F)以内、1200戸
■S=1,500,000 鎌倉コスミック・シティ・開発
282,800㎡×3戸×1,300㎡/戸
77㎡/戸
10F以内(2F×8F)以内、約1000戸の
専有面積
■S=1,200,000 鎌
7700㎡×3戸×1,050㎡/戸
95㎡/戸
■S=1,200 鎌倉モデルタイプ1
(HOUSE=MODEL TYPE1)
330㎡/戸×30戸
専有面積:約660㎡/20階
330㎡/1000戸/戸



かみよ
 (仮称) 神代ムーミンコミュニティ連邦構想その1 (仮称) 国際救助隊5次元リゾート “につぼんじま” IRRN (愛アルアルン)

KAMIYO-Mumin-Community-Common Wealth (No1) International-Rescue-Resort-Nipponjima IRRN
 事業の大概要

当事業の基本方針は次のようである。
 国際救助隊5次元リゾートといふ全く新しい考え方のビジョンのリゾートをつくるという考え方を共有するものとする。これは、当地域の水辺観光客は約100万人を有する大きなお宝の地である。また、そのお宝の地を共有し世界をフロンティアハウジングエリアとして提供、整備する。同時に、このお宝の地をフロンティアハウジングエリアを創出し、このホテル客室及び、レゾデンスホテル客室を日本の高齢者層や海外からの観光客に受け、その設備を従来の客室に比べて、それと別に設備の拡張等を対象とした分譲予約、重要施設を確保し整備して、世界最大の観光地、リゾート地への導線となる。約100万人の観光客を有する。相互救助隊の考え方を基盤とする。『地元の観光業に住宅や娯楽等を提供して助けてくれるならば、その人々（の老後の生活）を助けます』という考え方を、昔の縁組と類似と前置した王侯貴族の生活様式を延長と前置したものであり、サービスを受ける側とサービスを受ける側が安全に繋がれてしまっているのに対し、当事業は、人間の平等、平和、共存共栄の精神に基づいた、全く新しい相互救助隊のリゾートのかたちの提案なのである。

以上のような基本方針を前提として出資者等の投資意欲を高める。『重要事項の専断性を原則としたものであり、サービスを受ける側とサービスを受ける側が安全に繋がれてしまっているのに対し、当事業は、人間の平等、平和、共存共栄の精神に基づいた、全く新しい相互救助隊のリゾートのかたちの提案なのである。』
 5つの “世界初” の提案

1. 相互救助リゾート
 ●約400戸、1500人の被災住民のための災害復興用フロンティア住宅を、整備をくり出し、日本人海外移住エリアにも対応する全く新しい相互救助リゾートのかたちを提案。
 『地元の住民を助けてくれる。あなた（の老後）も助けます』という、相互救助、相互救助の仕組みをつくる。従来の縁組を前置した政治家運動型のリゾートから、共存共栄のフロンティア相互救助リゾートの大変換。
2. フロチャイニング・モバイル・エコタウン
 ●環境負荷が限りなくゼロ。かつ、災害に対するレジリエンス強靱なモデル住宅を、国際救助隊のフロンティア・モバイル・エコタウンの提案。災害には特に強い。
3. ねんせつシステムと自・フリスエールによるインフラシステム
 ●自治体や民間企業、市民、企業によるねんせつシステム、フロンティアシステムによるインフラシステムの提案、これらにより、様々な事故から人々を守る事が可能となる。
4. 日本をテーマとしたテーマパーク
 ●大企業からの伝統や最先端技術、現代、そして未来までも対象とした世界初の “につぼんじま” という、日本をテーマとしたテーマパークの提案。
 世界人類の特権可能な共存共栄、平和、幸福の実現モデルを目指す。

